

【別紙様式 I】 令和5年度 学校評価報告書

学校名 上荻野小 学校

厚木市教育委員会の基本目標	1 自ら学び、鍛え、未来を拓き、夢や可能性に挑み続ける力の育成【挑戦】
	2 自他の命や豊かな感性を大切に、多様性を認めながら共に生きていく力の育成【共生】
	3 変化する社会に自ら進んで関わり、人々と協働してより良い社会を創る力の育成【創造】

校長名 黒田 環

学校教育目標	学校経営の方針
自ら学びを拓き しなやかな心と体で 共に生きる社会を創ろうとする子どもの育成	○探求し表現する力の育成 ○自立した集団の形成 ○安心・安全の保障と健やかな心身の育成

今年度の重点目標

- ・自ら学びに向かう姿勢を養い、学力の充実を図る
- ・自分も他人も大切にしようとする態度の育成
- ・健康で安全な生活を自主的に実践する児童の育成

評価項目・指標等	基本目標との関連	具体的な取組	成果と課題	次年度への具体的な改善策
地域の教育力を生かす取組について	1・2・3	大豆栽培・豆腐作り体験 味噌づくり体験、「ぼうけんのもり」の活動、昔遊び体験 等	大豆栽培や豆腐・味噌作り、昔遊び体験や6年生のキャリア教育、中学年の毛筆指導など、地域の方々のお力添えで充実した授業を行うことができた。継続・発展に努めていきたい。	旧担当から新担当への確実な引継ぎをできるようにする。協力者とのコミュニケーションを積極的にとる。
校内支援体制について	2	児童教育相談・アンケート 生活アンケート 支援教育	児童とのコミュニケーションを深めるだけでなく、生活アンケートやいじめ調査シート等でアンテナを高く保つことに努めた。事案が発生した際には関係職員で組織的に対応する仕組みがあり、機能している。支援員や元気アップアシスタント、SCと連携して個別の支援にも取り組むことができた。	スクールガイド(学校生活のやくそく)の徹底を図る必要がある。毎学期始めにスクールガイドを確認する時間を設ける。
地域・家庭への情報発信について	3	学校ホームページ 学校だより	ホームページや学校だよりにおける情報発信は地域と協働する学校として、重要なツールであり、更新回数や内容を充実させる取組を継続できている。	内容の充実と職員の業務負担とのバランスを取りながら、効率的・効果的に発信を続ける体制を作っていく。
学校は分かりやすい授業や基礎学力の向上に努めている	1	校内研究の推進 指導法に関する職員研修	校内研究において発問や授業展開など、細部にわたって話し合うことで職員全体の指導力向上に努めた。GIGA研修や英語指導研修を毎月開催し、より具体的な実践方法を学ぶことができた。	それぞれの職員が持っている指導技術やICTスキルを共有できるような場を設けていきたい。

今年度の学校関係者評価委員会からの意見

児童がいきいきとすべての学習・生活に取り組んでいる。先生が児童のことを考えながら取り組んでいることが印象的である。緑に囲まれた自然豊かな環境でのびのび学べている。学校統合案が出ても存続し、地域の中核施設であって欲しい。

今年度の学校経営のまとめ ・ 次年度への改善の方針

コロナ禍があげ、教育活動が元に戻りつつある中、業務のスリム化を図りながら、その時々状況に合わせて職員が知恵を出し合いながら、今できること、すべきことを誠実に行ってきた。ボランティアや講師等、様々な方々の協力を得ながら、子どもたちに価値ある教育活動を展開することができた。今後も、地域や保護者と協力しつつ、地域と共に歩む学校を目指したい。